

平成23年度耕作放棄地解消事例調査票

NO. 1

協議会名	隠岐の島町地域耕作放棄地対策協議会			
平成22年度実施地区名	西郷地区			
地区の農地面積	852.04ha			
うち耕作放棄地	2,663.75a			
ほ場数	6 ほ場			
実証ほ対象面積	108.99 a			
地目	水田	畑	樹園地	
色分け	緑	黄色		
荒廃の程度・必要な作業	雑草繁茂	樹木侵入	人力作業	農業機械 重機
	その他	(湿田状態)		
荒廃の理由	高齢化	労働力不足	後継者不在	鳥獣害
	その他	(土壌的悪条件)		
取組主体	企業参入			
実施期間	再生作業：H22.6.29～H22.12.18			
実施事業費	全事業費 (1,516,974円) 交付金 (758,487円) 県費 (379,243円) 市町村費 (379,244円) その他 (-)			
作業内容	刈払	整地	土壌改良 定植	用排水整備 客土 その他 (抜根、雑木伐採、障害物除去)
導入作物	飼料米			
出荷先	自家飼料			
取組のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> 取組主体は、現在、企業参入により肥育を中心とした畜産業を行っているが、その経営拡大に伴う増頭計画により、粗飼料に不足が生じている。 知人から今回の耕作放棄地の所在を聞き、粗飼料確保に資するため、再生活動を実施することとした。 耕作放棄地再生利用緊急対策事業について、各種広報により知っていたことから、地域協議会に再生活動について相談し、その再生活動を実施した。 			
調整経緯	<ul style="list-style-type: none"> 知人の紹介のもと、6ほ場それぞれの所有者等に対し、再生活動実施及び再生後5年間の貸借契約について相談した。 全ての所有者等に承諾を得たため、利用権設定を結び、再生活動を開始した。 			
現在の状況	・H23年より飼料米の生産を行い、自家飼料としている。			
今後の計画	H23 飼料米	H24 飼料米	H25 飼料米	H26 飼料米
その他	(現地写真)			

調査対象地区は平成22年度実施地区（平成22年度報告書に記載の地区とする）

特に取り組みのきっかけ、調整経緯、現在の状況については、取り組み実施者から聞き取りをお願いします。

導入作物、出荷先は計画時ではなく今年度の作付状況等を基に記載願います。

現地写真は、再生までの写真と現在活用されている状況（栽培作物等）の写真を添付いただきますようお願いいたします。

(添付様式11-1別添1)
作業写真整理帳

取組主体名 (有)アグリおき
地区名 西郷地区
ほ場番号

撮影年月日 H22.6.29



撮影年月日	H22.11.8
作業内容	・抜根作業



撮影年月日 H22.12.18



注: 定点で実施前・中・後の3枚
を添付するものとする。

協議会名	隠岐の島町地域耕作放棄地対策協議会			
平成22年度実施地区名	西郷地区			
地区の農地面積	852.04ha			
うち耕作放棄地	2,663.75a			
ほ場数	4 ほ場			
実証ほ対象面積	54.55 a			
地目	水田	畑	樹園地	
色分け	緑	黄色		
荒廃の程度・必要な作業	雑草繁茂 その他	樹木侵入 (湿田状態)	人力作業	農業機械 重機
荒廃の理由	高齢化 その他	労働力不足 (土壌的悪条件)	後継者不在	鳥獣害
取組主体	企業参入			
実施期間	再生作業：H22.6.29～H22.7.31			
実施事業費	全事業費(760,808円) 交付金(380,404円) 県費(190,202円) 市町村費(190,202円) その他(-)			
作業内容	刈払	整地	土壌改良 定植	用排水整備 客土 その他 (抜根、雑木伐採、障害物除去)
導入作物	白小豆			
出荷先	JA隠岐			
取組のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の耕作放棄地周辺は、後継者、担い手、労働力不足等により、耕作放棄地が増加している。 ・ 取組主体は、現在、企業参入により水稲、畑作を中心とした農業を行っており、その経営拡大を計画している。 ・ 取組主体は、今回の耕作放棄地周辺に事務所を有することから、知人が所有する、その耕作放棄地の借り入れ、再生について相談し承諾を得た。 ・ 耕作放棄地再生利用緊急対策事業について、各種広報により知っていたことから、地域協議会に再生活動について相談し、その再生活動を実施した。 			
調整経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の再生地の所有者が知人であったことから、まずは、その所有者等に対し、再生活動実施及び再生後5年間の貸借契約について相談した。 ・ 所有者等の承諾を得たため、利用権設定を結び、再生活動を開始した。 			
現在の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ H23年より白小豆の生産を行い出荷している。 			
今後の計画	H23 白小豆	H24 白小豆	H25 白小豆	H26 白小豆
その他	(現地写真)			

調査対象地区は平成22年度実施地区（平成22年度報告書に記載の地区とする）

特に取り組みのきっかけ、調整経緯、現在の状況については、取り組み実施者から聞き取りをお願いします。

導入作物、出荷先は計画時ではなく今年度の作付状況等を基に記載願います。

現地写真は、再生までの写真と現在活用されている状況（栽培作物等）の写真を添付いただきますようお願いいたします。

(添付様式11-1別添1)
作業写真整理帳

取組主体名 齋建築
地区名 西郷地区
ほ場番号

撮影年月日 H22.6.29



撮影年月日	H22.7.10
作業内容	・草刈作業



撮影年月日 H22.7.31



注: 定点で実施前・中・後の3枚
を添付するものとする。

協議会名	隠岐の島町地域耕作放棄地対策協議会			
平成22年度実施地区名	西郷地区			
地区の農地面積	852.04ha			
うち耕作放棄地	2,663.75a			
ほ場数	1 ほ場			
実証ほ対象面積	9.66a			
地目	水田	畑	樹園地	
色分け	緑	黄色		
荒廃の程度・必要な作業	雑草繁茂 その他	樹木侵入 (湿田状態)	人力作業	農業機械 重機
荒廃の理由	高齢化 その他	労働力不足 (土壌的悪条件)	後継者不在	鳥獣害
取組主体	企業参入			
実施期間	再生作業：H22.6.29～H23.3.9			
実施事業費	全事業費(278,710円) 交付金(139,355円) 県費(69,677円) 市町村費(69,678円) その他(-)			
作業内容	刈払	整地	土壌改良 定植	用排水整備 客土 その他(抜根、雑木伐採、障害物除去)
導入作物	水稲			
出荷先	JA隠岐			
取組のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の耕作放棄地周辺は、後継者、担い手、労働力不足等により、耕作放棄地が増加している。 ・取組主体は、現在、企業参入により水稲を中心とした農業を行っており、その経営拡大に資するため、農地の確保に努めている。 ・取組主体は、今回の耕作放棄地周辺に事務所を有することから、その所有者に対し借り入れ、再生について相談し承諾を得た。 ・耕作放棄地再生利用緊急対策事業について、各種広報により知っていたことから、地域協議会に再生活動について相談し、その再生活動を実施した。 			
調整経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地所有者に対し、その再生活動実施及び再生後5年間の貸借契約について相談した。 ・所有者等の承諾を得たため、利用権設定を結び、再生活動を開始した。 			
現在の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・H23年より水稲(主食用)を行い出荷している。 			
今後の計画	H23 水稲(主食用) H24 水稲(主食用) H25 水稲(主食用) H26 水稲(主食用)			
その他	(現地写真)			

調査対象地区は平成22年度実施地区(平成22年度報告書に記載の地区とする)

特に取り組みのきっかけ、調整経緯、現在の状況については、取り組み実施者から聞き取りをお願いします。

導入作物、出荷先は計画時ではなく今年度の作付状況等を基に記載願います。

現地写真は、再生までの写真と現在活用されている状況(栽培作物等)の写真を添付いただきますようお願いいたします。

(添付様式11-1別添1)
作業写真整理帳

取組主体名 (有)横地建設
地区名 西郷地区
ほ場番号

撮影年月日 H22.6.29



撮影年月日 H22.11.8
作業内容 ・抜根作業



撮影年月日 H23.3.9

注: 定点で実施前・中・後の3枚
を添付するものとする。

